日越外交関係樹立45 周年記念事業

日・越　ボクシング・サッカー
交流フェスティバル　in ホーチミン

【ご協賛のご案内】

2018.10.1

日越ボクシング交流戦実行委員会

はじめに

趣 旨

16世紀初めには、日本とベトナムは交易という形をとり、日本人のための居留地、
日本町がホイアンに設けられ、シャム(タイ)やマレーシアなどと共に、
日本の朱印船はベトナムの港を頻繁に出入りしました。

そして時を経て、本年2018年は，1973年9月21日に日本とベトナムとの間で
外交関係を樹立してから45周年を迎えました。

本年6月に、グエン・スアン・フック・ベトナム首相と、安倍総理により
「日本とベトナムの広範な戦略的パートナーシップの深化に関する共同声明」が発出され、
両首脳は，日越外交関係樹立45周年を記念する諸活動の成功に向け、
緊密に協力することに合意しました。

この記念すべき年に、ボクシングそしてサッカーの盛んな日本国とベトナは基より、あらゆる国の
子供たちが参加出来る「ボクシング・サッカー交流フェスティバル」を開催することで、
各国民の交流が促進され、併せて、体力作りや健康維持に関心が高まる、
大変意義深いものになると考えております。

ボクシングやサッカーというスポーツの楽しさを通して喜びと感動を与え、
未来にわたる友好親善の芽を開花させるために、
「日・越　ボクシング ・サッカー交流フェスティバル」を開催いたします。

1 基本理念

こどもたちに感動と夢や希望を与えるために、ボクシングとサッカー文化の楽しさを伝えます。ボクシングとサッカーによって「誰もが楽しむ」スポーツ・文化本来のあり方を伝え、更に各国のこども達や国民が、体力増進・健康維持に関心が高まり、併せて等身大の日本を知る機会となり、各分野の交流によって、友好親善の促進に寄与するために、本記念事業を実施します。

基本概要

§ 日・越 ボクシング・サッカー交流フェスティバル

大好きな先生とお友達は	「日本からやって来た」	→→→→	（習う）	学ぶ・外交
	「日本を知りたい」	→→→→	（知る）	興味・観光
	「日本が好きだ」	→→→→	（好む）	絆・確立

本フェスティバルを配信することで、各国のこども達や国民が、等身大の日本を知る機会となり、各分野での相互理解とシンパシーが増えることを念頭におき、**「誰もが楽しむ」**ボクシング・サッカー本来のあり方を通して、**こども・夢・未来・支援** を、本プロジェクトによって確立することを目的とします。

実施計画

大会名	2018　日・越 ボクシング・サッカー交流フェスティバル「サムライ ファイト vol.2」	
日　程	2018年12月9日（日）午後2時開場（各種イベント開始）　午後5時ボクシング交流戦開始	
会　場	ベトナム・ホーチミン市 PHU THO スポーツセンター	
試　合	OPBFナショナル　初代スーパーライト級王座決定戦（ベトナムvsベトナム）	
	OPBFシルバー　スーパーバンタム級王座決定戦（日本vsタイ）　他・プロ数試合　※予定	
主　催	日越ボクシング交流戦実行委員会	
共　催	ホーチミン市文化スポーツ局ボクシング部	
認　定	OPBF東洋太平洋ボクシング連盟	
来場者数	1200人　※予定	
協　力	特定非営利法人 日本グローバル・コミュニケーション・センター	
後　援	在ホーチミン日本国総領事館	日本貿易振興機構（ジェトロ）
	公益財団法人 川崎市スポーツ協会	ホーチミン日本商工会議所
	公益財団法人 川崎市国際交流協会	川崎商工会議所
	公益財団法人 川崎市産業振興財団	公益財団法人 川崎市文化財団
	Jリーグ 川崎フロンターレ	一般社団法人 川崎市観光協会
	公益財団法人 ベトナム協会	神奈川新聞社
放　映	HTV ホーチミンテレビ	

開催事業	日・越 ボクシング交流戦　　こども サッカー教室　　こども ボクシング体験教室

※　こども 未来 夢 支援 イベント → めざせ！ 2020年 東京オリンピック・パラリンピック

ジャパンＰＲ・文化交流コンンテンツ

※ 画像例はイメージです。

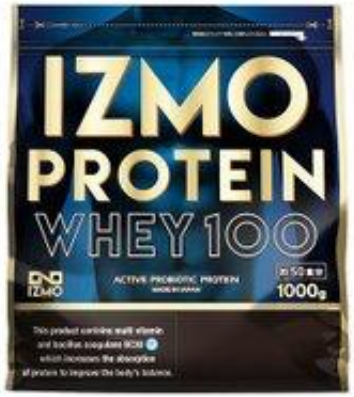
Ｊリーグ 川崎フロンターレ こどもサッカー教室

こどもボクシング体験教室

ジャパン漫画ＰＲ

ボクシング漫画「はじめの一歩」と、
OPBFのコラボグッズ展示

日本製プロテイン・サポーター 輸入品展示ブース



アルプロン社製 プロテイン「IZMO」

日本シグマックス社製 サポーター「ZAMST」

アジアのこどもたちをご招待（案）

■ ボクシング・サッカー交流がつなぐ、友情の和！

アジアのこどもたち

※ 画像はイメージです。

※ アジアのこどもたちのために！

日本のスポーツ・文化を世界各国に情報配信！

ベトナムテレビジョン　Channel ９（予定）

日・越　ボクシング・サッカー 交流フェスティバル

第１回開催時の様子

日本選手団

ベトナム選手団

齊藤義晴実行委員会委員長

総領事館 矢ヶ部義則首席領事

ホーチミン市文化スポーツ局
マイ・バー・フン副局長（中央）

第1回開催時 メディア関連

ボクシングで国際交流

日本とベトナム 来月ホーチミン市で

プロ・アマ9試合

プロ・アマ選手らが参加し、ベトナムの選手と計九試合を行う、メインイベントは、専門家全浮女子フェザー級チャンピオンの三好喜美佳選手による、エキシビションボクシングの。

川崎新田ジム参加、寄付受け付け

交流戦は実行委員会の主催で、ホーチミン市の川崎市多摩区の川崎新田ボクシングジムが昨年一月にホーチミン市にボクシングジムを開設しており、同市から日本とベトナムの交流戦を開いてほしいと要望があったという。

日本側の事務局を務める川崎新田ボクシングジムの新田渉世会長は「ベトナムは格闘技は盛んだが、ボクシングは まだメジャーではない。その分、無限の可能性を秘めている。これを機に普及させて、交流を発展させたい」と語る。

交流戦は、同ジムと海本ボクシングジム（東京）の日本とベトナムの国際交流を目的にしたボクシングの交流戦が十一月、同国のホーチミン市で初めて開かれた。川崎市多摩区を拠点とする川崎新田ボクシングジムなど両国のプロ、アマチュア選手が出場する。選手らは「現地の人にも楽しんでもらえる試合をしたい」と張り切っている。（横井武聡）

斉藤義晴会長が委員長となり、川崎市文化スポーツ局から委員を務める。川崎新田ボクシングジムが昨年一月にホーチミン市にボクシングジムを開設しており、同市から日本とベトナムの交流戦を開いてほしいと要望があったという。

川崎新田ボクシングジムの新田渉世会長は「ベトナムは格闘技は盛んだが、ボクシングは まだメジャーではない。その分、無限の可能性を秘めている。これを機に普及させて、交流を発展させたい」と語る。

交流戦は、同ジムと海本ボクシングジム（東京）の

ベトナムとボクシング交流戦

多摩のジム「人気スポーツに」

ベトナム・ホーチミン市で11月20日、同国と日本のプロ・アマのボクシング選手による国際交流戦が開催されることになった。川崎市内のボクシングジムや経済団体らによる実行委員会と、ホーチミン市文化スポーツ局ボクシング部による共催で、現地時間の午後5時に試合開始予定という。

実行委が川崎商工会議所で会見して発表した。ホーチミン市に昨年、開設された「サムライボクシングジム」で、川崎市多摩区の川崎新田ボクシングジム（新田渉世会長）出身の尾島祥吾さん（元全日本バンタム級新人王）がトレーナー、会長を務める。ホーチミン市文化スポーツ局から尾島さんに「日本選手との交流戦をやってほしい」と頼まれたのがきっかけとなった。

実行委によると、日本とベトナムによるプロ・アマ参加のボクシング国際交流試合が、ベトナムで開かれるのは初めて。ベトナムでは有料でスポーツイベントを観戦する習慣が無いため、約3千席の全席を無料開放する。イベントの費用の一部（50万円）は、インターネットで資金を集める クラウドファンディングで募集する。

ベトナムでエキシビションマッチをする三好喜美佳選手（後列左から3人目）ら＝川崎市川崎区の川崎商工会議所

メインは新田ジム所属で、東洋太平洋女子3階級制覇の三好喜美佳選手（28戦13勝9敗1分け）のエキシビションマッチ。10オンスのグローブを付け、ヘッドギア無しでベトナムの女子選手と対戦する。この他、都内のジムも含め、計8人のプロ・アマが、現地選手と試合を行う予定だ。

「ベトナムはベトナム戦争後、ボクシングが禁止されていた期間があり、他国より遅れている」と実行委の日本事務局を務める新田会長。「できれば、年1回ぐらいのペースで開催し、交流を通じて人気スポーツにしたい。いずれは、現地で眠っている『金の卵』たちが日本で活躍できるようにしたい」と話している。（村山恵一）

ボクシング交流戦

日越の幅広い親交を

ホーチミン市で来月開催

ボクシングを通じて日越の交流を広げようという「日本―ベトナム・ボクシング交流戦」が11月20日、ベトナム・ホーチミン市で開かれる。両国のプロ・アマ選手による国際交流戦イベントは初めて。川崎新田ボクシングジム（川崎市多摩区）を中心とする実行委員会の斉藤義晴委員長は「ベトナムと日本、川崎がスポーツだけではなく、産業、文化など幅広い事業で親交を深めていけるようにしたい」と意気込んでいる。（滝村　誠）

試合は、同ジム所属で東洋太平洋女子3階級制覇の三好喜美佳選手のエキシビションマッチのほか、プロ選手の6回戦2試合、4回戦3試合、アマチュア3回戦3試合。

同ジムの新田渉世会長によると、ベトナム戦争以降、同国では一時期ボクシングが禁止されていた。同会長は「格闘技が盛んな中でまだまだメジャーとはいえない。それだけに無限の可能性がある」とみる。昨年一月、ホーチミン市にジムを開設し、普及と交流に努めていたところ、同市側から交流戦の打診があった。

「スポーツのまち・かわさき」のアピールにつながると市や市スポーツ協会、商工会議所などの協力を開催が実現。当日は会場に川崎の企業やスポーツのPRブースも設ける。

11月の会見で、三好選手は「ヘッドギアを着けず、スピード感のあるボクシングをベトナムの方々に楽しんでもらいたい」と意欲を口にした。

同国ではチケットを買ってスポーツを楽しむ習慣がなく、入場無料で開催するため、実行委は14日からインターネットのクラウドファンディングで資金を募る。詳細は同ジムのホームページ参照。

「日本―ベトナム・ボクシング交流戦」への抱負を語った三好選手（後列左から3人目）ら選手と実行委員会メンバー＝川崎市内の会場

ホーチミンで日越交流戦

ボクシング　川崎市など協力

日本人選手とスタッフ（前列）、ベトナムの選手ら（後列）＝新田ジム提供

日本とベトナムの視察を深めようと、両国のプロ・アマチュア選手によるボクシング交流戦が11月20日、ベトナムのホーチミン市で開催された。

当日は同市青年文化会館に、野外の試合会場を設置。プロボクシングのない同国では貴重なプロ選手の試合とあって、雨の中、1千人以上の観客が訪れた。

昨年、同市にジムを開いた川崎新田ボクシングジム（登戸）が中心で実行委員会を設立し、福田紀彦市長が名誉顧問に。川崎市スポーツ協会の齊藤義晴会長が実行委員長を務め、当日は現地入りした。試合は東洋太平洋女子3階級制覇の三好喜美佳選手（川崎新田）のエキシビションマッチのほか、日本人プロ選手5人とアマ3人による8試合を開催。新田ジムからはプロ4人、アマ1人が出場した。

新田ジムの新田渉世会長は、来年以降の日越戦開催に意欲を示し、「お客さんの活気など手応えは十分感じた。2月の興行でベトナム人のプロデビューを実現させ、ベトナム人ボクサーが日本で活躍する環境をつくっていきたい」と語った。

現地で選手にトロフィーを渡す齊藤実行委員長（右）

あっとほーむデスク

プロ野球・日本ハムへの入団が決まった、専修大学野球部の森山恵佑主将、伊勢原市の寮から生田キャンパスに小田急線で4年間通い、向ケ丘遊園駅前のラーメン屋「大桜」が大好きだという大学生が、北の大地へ旅立つ。

日越 リングで交流

ホーチミン、プロアマ熱戦

プロ・アマ選手による初の「日本―ベトナム・ボクシング交流戦」（神奈川新聞社など後援）が20日、ベトナム・ホーチミン市で開かれた。実行委員会をつくる川崎新田ボクシングジム（川崎市多摩区）の新田渉世会長は「雨にもかかわらず、（屋外の会場で）千数百人が観戦した。歴史の一ページを刻むことができた」と語り、交流発展に意欲を示している。

試合は、同ジム所属で東洋太平洋女子3階級を制覇した三好喜美佳選手のエキシビションマッチのほか、プロ・アマの8試合が行われた。結果は日本勢の3勝5敗だったが、メインの57㌔契約6回戦では、日野僚選手（川崎新田）がファン・ヴァン・ヒエン選手に3ラウンドKO勝ちした。

「スポーツのまち・かわさきのアピールに」と市や市スポーツ協会、商工会議所などが協力して実施した。

「日本―ベトナム・ボクシング交流戦」を前に紹介される日越の選手ら（川崎新田ボクシングジム提供）

※写真はイメージです。

「冠スポンサー」ご協賛 1,000,000円

※ ポスター・チラシ・試合プログラム・会場看板・イベントホームページ等にて「●●●●CUP」と表示します。
※ VIP席4枚を、ご招待券として贈呈致します。

ポスター・チラシ
試合プログラムバナー

会場看板等バナー

ホームページTOPバナー

※ 上記に加え、次ページご協賛アイテムA・B全てに御社名を表示致します。（※試合プログラム：⑤、うちわ：①）

ご協賛アイテム A

ご協賛アイテム B

※写真はイメージです。

ご協賛アイテム A

※ VIP席2枚を、ご招待券として贈呈致します。

タイトルマッチ出場選手トランクス

各2000万ドン（10万円）

コーナーポスト

1本2000万ドン（10万円）

ラウンドボード

1社2000万ドン（10万円）

ブース出展（自社PR/サンプル配布）

1社2000万ドン（10万円）
※自社PRやサンプル配布等

ご協賛アイテム B

※ プログラム③④⑤、うちわ①＝VIP席2枚
その他＝VIP席1枚・を、ご招待券として贈呈致します。

試合プログラム広告協賛	
①社名のみ	200万ドン（1万円）
②1/8	600万ドン（3万円）
③1/4	1,000万ドン（5万円）
④1/2	2,000万ドン（10万円）
⑤1ページ	4,000万ドン（20万円）

イベント記念うちわ		
①	うちわ（ロゴ掲載）	1,000万ドン（5万円）
②	うちわ（社名・氏名のみ）	400万ドン（2万円）

●●●　●●●　●●●　●●●
●●●　●●●　●●●　●●●
●●●　●●●　●●●　●●●

イベントホームページロゴ掲載
1社200万ドン（1万円）

ご協賛お申込書

必要事項を全てご記入の上、Eメール、TEL/FAX等にてご提出下さい。後ほどお支払い方法を連絡させて頂きます。

●冠スポンサーご協賛

・200,000,000ドン（100万円）×＿＿＿＿＿口　合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

●ご協賛アイテム A

・タイトルマッチ出場選手トランクス　2000万ドン（10万円）×＿＿＿＿＿口 合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

・ラウンドボード 2000万ドン（10万円）×＿＿＿＿＿口 合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

・コーナーポスト 2000万ドン（10万円）×＿＿＿＿＿口 合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

・ブース出展 2000万ドン（10万円）×＿＿＿＿＿口 合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

●ご協賛アイテム B

・プログラム広告 200万ドン（1万円）・600万ドン（3万円）・1000万ドン（5万円）
2000万ドン（10万円）・4000万ドン（20万円）　合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

・記念うちわ ①1000万ドン（5万円）・②400万ドン（2万円）　合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

・ホームページロゴ 200万ドン（1万円）　合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

TTL ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ドン/円

申込日　　年　　月　　日

御社名／お名前			
ご住所			
電話番号		FAX	
E-mail			

【お問合せ】 2018 日越ボクシング交流戦実行委員会
日本事務局　川崎新田ボクシングジム　TEL/FAX 044（932）4639 kawasaki.nittaboxing@gmail.com
越国事務局　サムライボクシングジム　TEL 08（3941）5054　samurai.s.g.boxing@gmail.com